

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

地域を愛する強いきずなづくり推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

笠岡市

3 地域再生計画の区域

笠岡市の全域

4 地域再生計画の目標

笠岡市は、岡山県南西端に位置し、人口 50,634 人を擁する、高齢化率 34% の地方都市である。笠岡市は平成 25 年に日本創生会議が公表した「消滅可能性都市」に含まれており、若者を中心とする人口の市外流出等により、5 年間で市総人口の 6.7%にあたる 3,672 人が減少（H27 年国調速報値）する深刻な状況にある。このように、かつて 7 万人であった笠岡市の人口流出が続き、空き家の増加、それに伴う高齢者の孤立化などにより地域住民のつながりが弱まり、伝承されてきた文化的活動が断絶し、地域を維持することも困難となるような様々な問題が広がっており、我が国が「2025 年問題」として社会問題として起こりうることを笠岡市では既に迎つつある。

「笠岡市人口ビジョン（H27.8 月策定）」における昭和 60 年以降の国勢調査における年齢 3 区分人口及び人口ピラミッドを見ると、老年人口割合は増加し H22 で 31.0%となり、生産年齢人口、年少人口は減少し続けており、高齢化による地域コミュニティ衰退を指摘している。青年期に地域活動を受け継いだ現在の高齢者が、次の世代の若者に引き継ぐことが出来ずに、コミュニティが徐々に衰退していく様子を裏付けている。さらに、若い世代に地域活動を引き継げないことから若者が地域活動に対して経験も少なく、参加意識が希薄であったり、活動したくても場が無かったりといった課題もある。

また、笠岡市は遠浅の瀬戸内海に面した立地で土地が少なく干拓等による宅地の造成により、住宅地を拡大してきた地域が多くあり、歴史が浅く住民をひとつにまとめる共通の意識を持ちにくい傾向がある。地域活動に参加する人は活発に活動を行っているが、参加しない人は全く関わらないということもある。反面、古くから集落を形成してきた地域では、地域住民の多くが参加し新しい発想の活動も生まれている。

人口が減少し担い手がいなくなる中、こうした地域間の取り組みや世代間の取り組みの差を埋め、多種多様な人が地域活動に関わることができる環境を作り出すことが課題になっている。

こうした課題を解決し、地域を愛する強いきずなを創造するために、次の各事業を推進していく。

- ①協働のまちづくり事業の実施
- ②日本遺産研究事業の実施
- ③白石踊後継者育成事業
- ④志縁組織との協働事業の実施
- ⑤地域のまちづくりの中心となる人材の育成

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 増加分 (1年目)	平成29年度 増加分 (2年目)	平成30年度 増加分 (3年目)
まちづくり活動への 参加人数 (のべ人)	16,620	500	650	800
まちづくり協議会の 認知率 (%)	54.6	0.0	0.0	15.4
転出者に18~25才の 占める割合 (%)	26.1	△1.0	△0.3	△0.3

	KPI増加分の 累計
まちづくり活動への 参加人数	1,950
まちづくり協議会の 認知率	15.4
転出者に18~25才の 占める割合	△1.6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

笠岡市では、人口が減少しても今いる場所に誇りを持って暮らし、生活に

基づいた特色ある地域をつくるために、地域住民が自主的に地域の特性にあったまちづくり活動を行うことに対し支援を行い、担い手が活動しやすい組織を作るとともに、若者や女性など様々な人材が今後活躍できるよう人材の育成を行っていく。

また、笠岡市は山もあり海もあり、かつての県庁が置かれたまちであり、瀬戸内海の交通の要所として、多種多様な人が行き交い、文化を築いてきた。この文化を自分たちのものであると認識し、地域そのものとして守っていく機運を醸成することで、地域を愛しその地域独特の活動を生み出し継続していく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

①事業主体

笠岡市

②事業の名称：地域を愛する強いきずなづくり事業

③事業の内容

(1)協働のまちづくり事業の実施

それぞれの地域の課題解決の取り組みや特性を活かした地域づくりを支援するために、まちづくり協議会の活動に対して助成を行い、多くの人の参加と継続的な取組みを後押しする。

(2)日本遺産研究事業の実施

地域活動に誇りを持ち持続可能なものとするため、地域の歴史文化を再認識し、地域の総意の下で保護していく活動に取組み、全ての住民がすばらしい歴史文化を共有していることを形で示すため、日本遺産認定を目指す。

(3)白石踊後継者育成事業

国の重要無形文化財でありながら踊り手の高齢化、若者の転出等により後継者がいなくなり継承が困難になりつつある白石踊りを地域住民で構成される白石踊り保存会が後継者育成活動を行い、外部の人に踊り手になってもらい白石島の重要な観光資源でもある白石踊りを後世に伝え、事業を通して島の交流人口を増やし、地域を元気にする。文化が地域を動かす役割を果たすモデルとなる。

(4)志縁組織との協働事業の実施

地域や社会の課題を解決するために、公共性・公益性のある活動を行う NPO 法人等の団体の活動を支援するため「志縁型団体協働のまちづくり補助金」を交付する。

(5) 地域のまちづくりの中心となる人材の育成

まちづくり協議会のまちづくり活動が活発化され、協働のまちづくりを次世代に引き継いでいくために、「ふるさと笠岡思民大学」を開催し、まちづくり協議会の運営や企画のできる人材を育成する。

④事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

地域拠点（井戸会館等）の施設使用料や、空き家を活用した食堂、農家民宿等の運営等による地域の活動努力による収益金を増やしていく。まちづくり協議会の中から NPO 法人化している団体もあり、クラウドファンディングを活用した事業の実施を目指す。また、地域づくりを応援したい人からのふるさと納税制度を活用した寄附による財源の確保を目指す。

【官民協働】

笠岡市とまちづくり協議会および志縁組織とが目的や目標を共有し、協働で事業を行うことにより、市民ニーズに合った公共サービスの提供や地域課題の解決を図ることができる。実施事業に対しては、民間・行政による事業審査委員会を設け、まちづくり協議会の行う事業について審査・助言を行う。

【政策間連携】

地域活動の中心となるまちづくり協議会は高齢者が多く、若者等の団体と連携することで、多様な人材の育成、若者の地域定着を図ることが出来る。

【地域間連携】

笠岡市は、2つの連携中枢都市圏に関係していることから、小さな拠点整備のモデル地区として情報共有し、あるいは圏域内で連携した活動を提案することで相乗効果が得られる。

【その他の先導性】

特になし

⑤重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 増加分 (1年目)	平成29年度 増加分 (2年目)	平成30年度 増加分 (3年目)
まちづくり活動への 参加人数 (のべ人)	16,620	500	650	800
まちづくり協議会の 認知率 (%)	54.6	0.0	0.0	15.4
転出者に18~25才の 占める割合 (%)	26.1	△1.0	△0.3	△0.3

	KPI増加分の 累計
まちづくり活動への 参加人数	1,950
まちづくり協議会の 認知率	15.4
転出者に18~25才の 占める割合	△1.6

⑥評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を企画担当部署がとりまとめて、学識経験者、有識者等で組織する笠岡市施策評価委員会で評価を行う。評価結果は、必要に応じて笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略や今後の施政方針に反映させる。また、評価結果はホームページで公表する。

⑦交付対象事業に要する経費

①法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 163,453千円

⑧事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日（3ヵ年度）

⑨その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生方針に基づく支援

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成31年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、市内の各まちづくり協議会からの報告や笠岡市が実施する市民アンケート及び関係施策評価委員会で評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標1

まちづくり活動への参加人数については、毎年度末時点で市内各まちづくり協議会からの事業実績報告に基づき実数を把握する。

目標2

まちづくり協議会の認知率については、笠岡市が隔年で実施する市民アンケートの集計結果により把握する。

目標3

転出者に18～25才の占める割合については、住民基本台帳の異動記録に基づき把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 増加分 (1年目)	平成29年度 増加分 (2年目)	平成30年度 増加分 (3年目)

まちづくり活動への参加人数（のべ人）	16,620	500	650	800
まちづくり協議会の認知率（%）	54.6	0.0	0.0	15.4
転出者に18～25才の占める割合（%）	26.1	△1.0	△0.3	△0.3

	KPI増加分の累計
まちづくり活動への参加人数	1,950
まちづくり協議会の認知率	15.4
転出者に18～25才の占める割合	△1.6

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

笠岡市施策評価委員会で毎年度末時点の評価を行い、ホームページで公表する。